

[事業戦略]

三井住友建設の事業

[土木事業部門](#) ▼ [建築事業部門](#) ▼ [海外事業部門](#) ▼ [新規・建設周辺事業部門](#) ▼

[ご参考 2020年度の業績概況](#) ▼

三井住友建設グループは、時代とともに変化する多様なニーズに応える企業として、土木分野および建築分野において培った技術力、ものづくりのノウハウを活かし、地域の発展を支える社会基盤の整備など、そのフィールドを世界に広げる事業を展開しています。事業を通して、お客さまの信頼を第一に時代が求める価値を提供する企業を目指します。

ここでは当社グループの主な事業を中期経営計画における事業戦略ベースに「土木事業部門」「建築事業部門」「海外事業部門」「新規・建設周辺事業部門」の4つに分け、概況を一覧しています。各事業の詳細については、事業部門別のページをご覧ください。

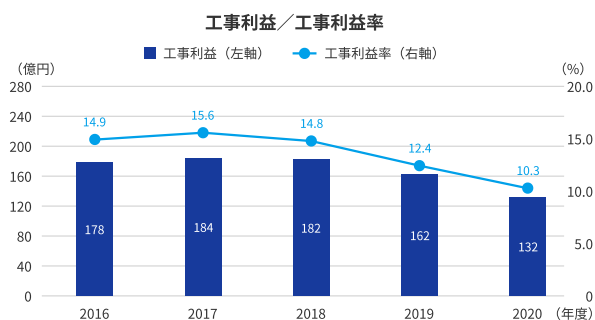
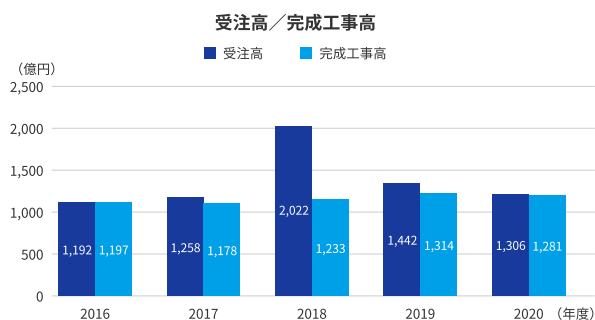
土木事業部門



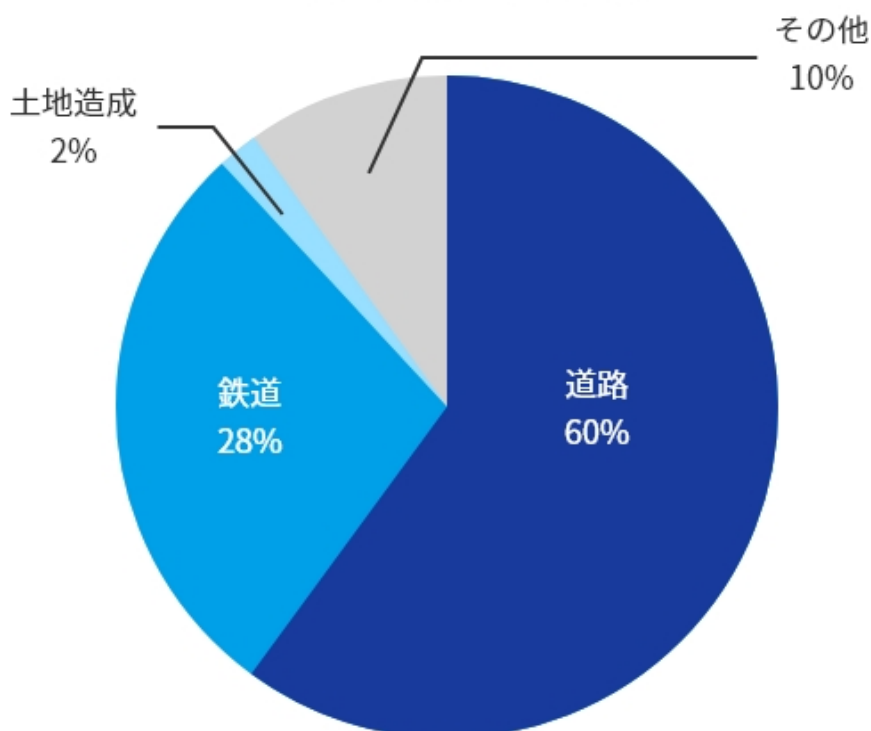
主な事業領域

- 橋・PC構造物
- トンネル・シールド
- RC構造物（土木）
- 容器・貯蔵施設
- 地盤・基礎 など

▶ 土木事業部門



2020年度分野別受注高構成比



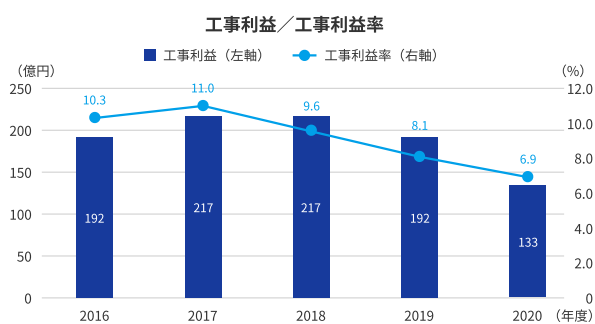
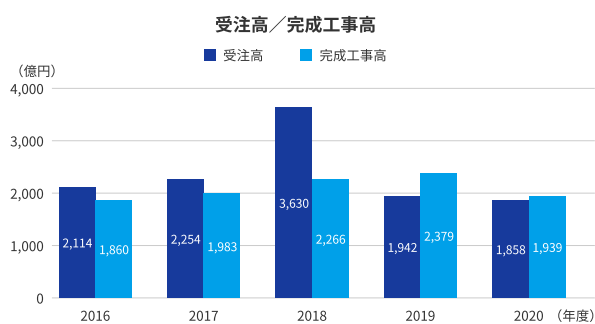
建築事業部門



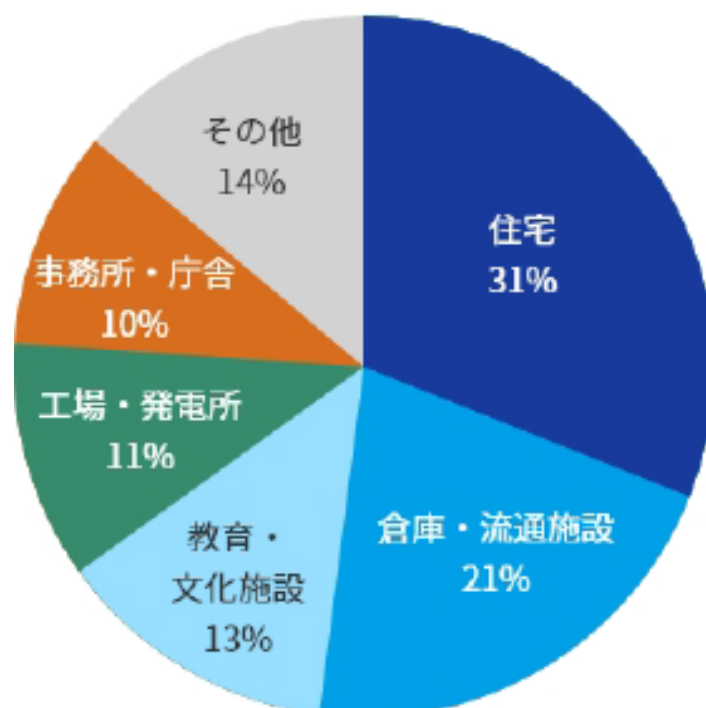
主な事業領域

- 住宅・宿泊施設
- 商業施設・オフィスビル
- 物流倉庫施設
- 医療福祉施設
- 生産・研究施設 など

▶ 建築事業部門



2020年度分野別受注高構成比



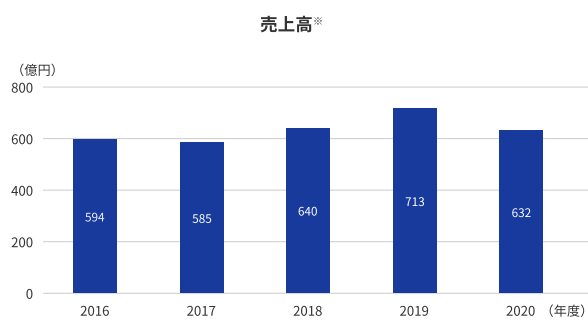
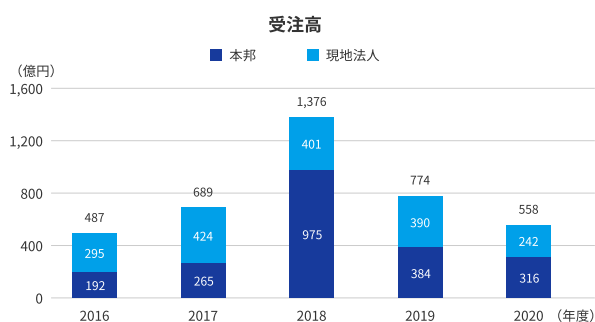
海外事業部門



主な事業領域

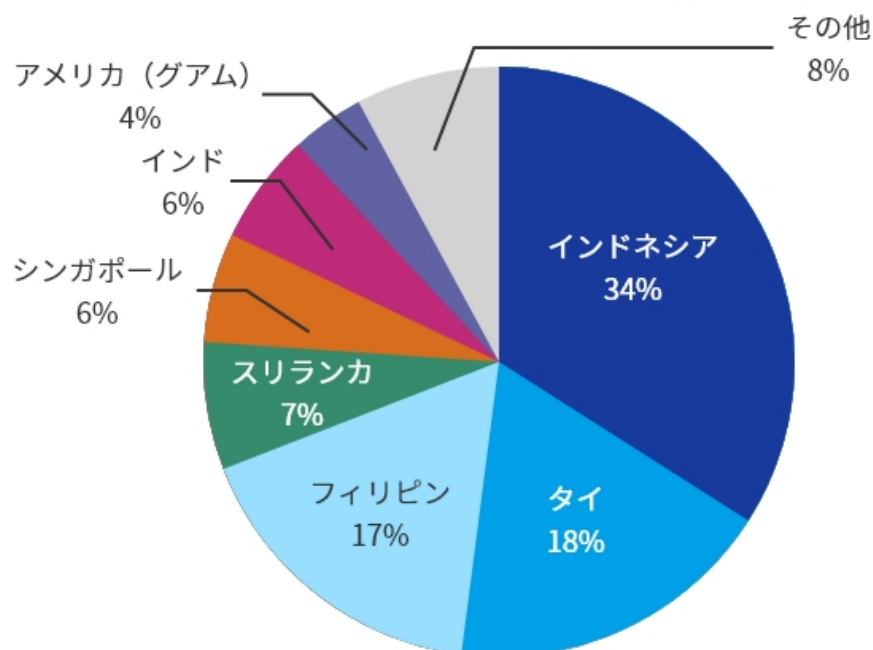
- 橋・PC構造物
- 都市土木
- 生産・研究施設
- 宿泊施設
- 教育施設 など

▶ [海外事業部門](#)



※ 本邦、現地法人を含む

2020年度国別受注高構成比



新規・建設周辺事業部門



主な事業領域

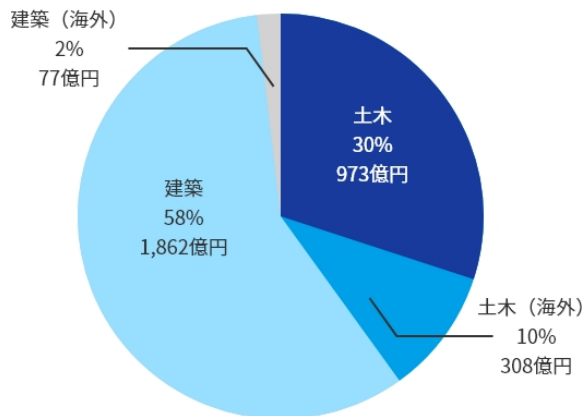
- 再生可能エネルギー事業
- 水上太陽光発電用フロート製造販売事業
- PPP/PFI事業
- 高度エンジニアリング事業 など

▶ [新規・建設周辺事業部門](#)

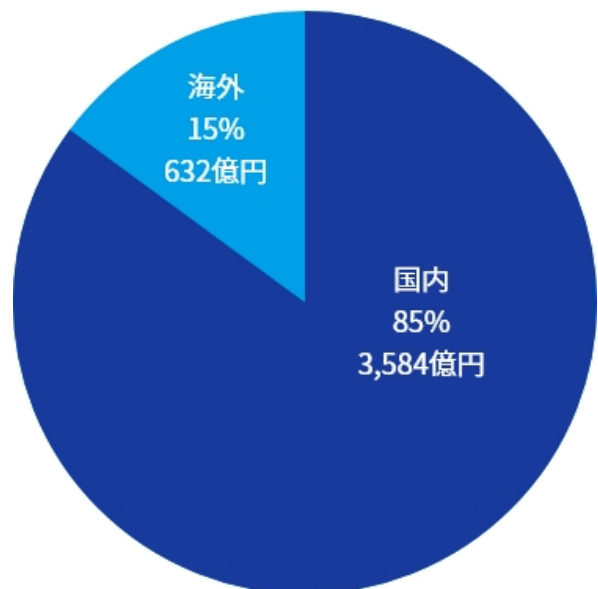
ご参考 2020年度の業績概況

完成工事高は前年度比で12.8%減の3,220億円となりました。2021年3月末時点の繰越工事高は7,020億円で、引き続き高い水準を維持しています。海外の売上高は632億円で、連結売上高の15%を占めています。

2020年度事業別完成工事高構成比（個別）



2020年度地域別売上高構成比（連結）



部門別の受注高・完成工事高・繰越高(個別)

単位：億円

工事部門	2019年度繰越高	2020年度受注高	2020年度完成工事高	2021年度繰越高
土木	3,297	1,306	1,281	3,321
建築	3,780	1,858	1,939	3,699
合計	7,077	3,164	3,220	7,020

2020年度受注高の構成比率

■ 土木工事 ■ 建築工事



2020年度受注高の官民比率

■ 官公庁工事 ■ 民間工事

